



P1 センターからおしらせ

市民活動のための講座

P2 広報担当になったら

P3 [利用案内] 情報収集とおすすめ情報

NPO広報力向上委員会「伝えるコツ」
日本フィランソロピー協会「ボランティアウェブ」

**P4 [団体紹介] カルチャーボランティアガイド
いがうえの語り部の会**

点検のため
お使いいただけません

停電を伴う設備点検のため
印刷機・冷房 使用不可

・9/25(木) 9:30-11:30

市民活動 講座2025

連続講座「持続可能な団体運営について」

活動を長続きさせるには「多様な人」を巻き込めるかがポイントです。
2回にわたり、多様な人と一緒に活動するコツを専門家から学びます。

終了しました
第1回
8/27
水曜日



多様なひと

が担う持続可能な団体活動

テーマ 担い手探し 講師 大阪ボランティア協会 青山 織衣 さん



ホームページを
ご覧ください



開催します
第2回
10/19
日曜日

コミュニケーショントレーナーに学ぶ！

地域活動の「いろいろな人」との接し方

第2回 申込期間

10/1(水)～10/15(水)

テーマ 地域活動特有の人間関係や状況に応じた実践的なコミュニケーションスキル 講師 大阪ボランティア協会 谷水 美香 さん

2024講座 開催報告

2024年度は、「食を提供する活動」や「団体のお悩み」に関する講座を開催しました。



2024
11/30
開催

食を提供するボランティアに必要な知識[第2回] 食物アレルギーの基礎知識と対策

三重県立看護大学の前田貴彦さんに、食物アレルギーの原因、対処方法、災害への備えなどをお話いただきました。食事を提供するボランティアに関わっている人やこれから活動予定の人が受講し、それぞれの活動にいかそうと、熱心にメモをとって話に聞き入っていました。

2025
2/25
開催

ビジネスの手法でお悩み解消 市民活動の資金調達と仲間づくり

産学官連携地域産業創造センターゆめテクノ伊賀の飯田俊英さんをお招きし、仕事の経験や知識は市民活動にも活かせることや、「トライ＆エラーの積み重ね」の重要性についてお話いただきました。『市民活動・事業展開MAP』を使ったワークショップでは、活動の方向性を視覚化する手法を学びました。



N-1 みんなで応援する
住民活動
グランプリ in 伊賀城和 2025

お楽しみに♪

パネル展示&投票

10/1(水)～10/31(金)

昨年の
冊子配布中



市民活動では代表の他に、連絡係や広報、会計など様々な分担があり、どれも大切な役割です。役割一つ一つにスポットを当てて、気楽に取り組めるような情報をお伝えします。



担当になったら

分野を問わず、活動の中で作業が多くて時間を費やしがちなのが「広報」に関わる活動です。最近では、複数の媒体を組み合わせて広報するのが主流になり、情報を受け取る側にとっては便利になりました。その一方で、発信する側は媒体の選択から作業まで、やることが増え続けています。今回は、そんな広報の現場に役立つアイデアをご紹介します。

前提

団体のみんなを巻き込む

みなさんが取り組んでいる「住民自治」「NPO」「ボランティア」活動は、自分の意思で動いて(自主性)、みんなで支え合って(連帯性)、自由な発想で(創造性)取り組む活動です。広報は、団体の考えを伝える役目であることを忘れず、団体ならではの発信をしていきましょう。

1

お手本を探す

印刷物を手にとって読む他に、様々なデザインを探して、保存しておくインターネットサイトを利用するのもおすすめです。



団体の広報誌や
チラシのことなら
当センターへ！



ブログでも
紹介しています。

無料素材にもルールがある！

2

テンプレートを使う

多くの編集ソフトには、テンプレート(ひな形)が用意されています。特に慣れていない場合に活用すると、早くて安心です。

できたものを「団体のテンプレート」として保存しておけば、次からはより効率的に作業ができます。

！ ネットで取得した画像やイラストに注意

許可が必要なものや加工を制限しているものもあります。利用条件を必ず確認して使いましょう。

！ 「似せ過ぎ」「テンプレートそのまま」に注意

色や配置を変える、オリジナルの画像を使うなどして、団体の個性や季節感を表現しましょう。

3

他の人の目でチェックする

承認者や校正する人がいれば、担当者の心の負担は軽くなります。誤字脱字のほか、団体が発信する情報としてふさわしいかなども、複数の人が関わることで確認しやすくなります。

孤独になりがちな編集などの作業も、頼もしい仲間がチェックしてくれる！と思えば、ちょっと気楽に取り組めるかもしれません。

4

ニュースリリースを作る

ニュースリリースとは、報道機関に向けて「ニュースになるような情報」を公式発表する文書のことです。

作成のポイントは、一方的に「伝える」のではなく、記者に「伝わる」よう工夫することです。そうすれば取り上げられる可能性も高まります。ホームページやSNSでの発信に限界を感じたら、報道機関の力を借りるのも一つの方法です。

もっと知りたい方は、市民活動支援員にお気軽にお尋ねください。



支援センターでは、伊賀市で活動する団体からお寄せいただいた情報をさらに広く届ける支援のほかに、全国各地から**活動に役立つ情報**を集める業務を行っています。

例えば

- ▶ 住民自治・NPO・ボランティアなどの活動に役立つ**情報誌**
- ▶ **全国各地**で開催される活動に役立つプログラムや研修の情報
- ▶ **助成団体**からの募集情報や報告書

たくさんの情報の中から、**とっておきの情報**をご紹介します！

広報について学べる
コミュニケーション力
向上プロジェクト

「伝えるコツ」

NPO広報力向上委員会

株式会社電通と全国のNPOが講師となって、NPOのための広報の秘訣を発信。テキスト・動画教材・セミナーの3つの方法で学ぶことができます。

テキスト版『伝えるコツ』は、当センターの交流スペースでもご覧いただけます。動画教材(YouTube)は二次元コードから⇒

問い合わせ 事務局
特定非営利活動法人
日本NPOセンター



企業に参加を呼びかけられる
従業員と活動の
マッチングサイト

ボランティアウェブ

公益社団法人
日本フィランソロピー協会

登録すると、企業の従業員にボランティア参加を呼びかけることができます。集まって実施する活動も、オンラインや郵送で参加する在宅ボランティアの呼びかけもOK！

問い合わせ 運営団体

公益社団法人
日本フィランソロピー協会



一覧でチェックできる
助成金・補助金

市民活動支援センター ホームページ



こまめに
チェック



月1～2回更新

助成金などの情報を一覧でお知らせしています。一覧には応募先のリンクも掲載していますので、詳細の確認も簡単です。



一部の情報は、専用ラックに紙の募集要項やチラシを置いてあります。開館時間内は自由にご覧ください。

情報ラックは1階ロビーにあります
伊賀市ゆめぼりすセンター開館時間
9:00-17:00 ※夜間は貸室予約がある日のみ開館



三重県文化賞 表彰式

創立30周年

祝

三重県文化賞
文化奨励賞 受賞

伊賀上野の歴史・文化を伝え続けて30年

カルチャーボランティアガイド いがうえの語り部の会

活動 内容

伊賀上野にある主要な観光地で**定点ガイド**やリクエストに応じた**観光案内**を**ボランティア**で行っています。

新しいガイドを養成する講座の他に、ガイド同士で学び合う活動も大切にしています。座学や実地研修を定期的で開催して、知識やガイド技術の向上に励んでいます。



実地研修

近況& 団体からの メッセージ

2024年に**創立30周年**を迎え、**記念誌を作成**しました。これまでの活動や会員からのメッセージをまとめた1冊です。みなさん、ぜひ手にとってご覧ください！

6月には、第24回三重県文化賞 文化奨励賞を受賞しました！当団体の**多くのメンバーが長年、伊賀の文化や歴史を伝える活動に取り組んできた**ことを県に評価していただきました。今後も伊賀を盛り上げていきます。地域のみなさんのご協力をお願いします！



支援センターで
ご覧いただけます

仲間 募集

展示会やN-1グランプリに出展して、ボランティアで活動する魅力を発信しています。ガイドボランティアは、説明が伝わった時の喜びや自分の成長をその場で実感できる、とてもやりがいのある活動です。

一緒に活動してみませんか。以下の連絡先か支援センターまでお気軽にお問い合わせください。



ボランティア活動を
広める展示会

問い合わせ

いがうえの語り部の会

※観光案内の受付も行っている連絡先ですので、最初に「ボランティア参加の件」と伝えてください。

メール kataribe.iga@gmail.com

TEL 090-9264-1360 FAX 0595-26-7799



伊賀市市民活動支援センター

伊賀市ゆめが丘1-1-4 ゆめぼりすセンター内

月曜日～土曜日
[休館] 日曜、年末年始

[利用時間] 9:00-17:00
交流スペースはゆめぼりすセンターの
利用状況により、夜間も利用可

TEL 0595-22-1511

メール igasksc@ict.ne.jp

FAX 0595-22-0310

ホームページ

